

コミュニケーション能力の育成や中学校の英語授業でチームティーチングを実施するほか、保育所・幼稚園や福島商業高校での指導についても充実に努めてまいります。

なお、基礎学力向上対策の一環として、教職員の授業力向上や様々な教育課題に対応できるよう、先進地の指導方法等の研修など教職員の経験や時代のニーズに応じた適切な研修により、資質・能力の向上に努めてまいります。

### ③ 健やかな心と身体の育成

**子**どもたちが豊かな人間性を育むためには、個性や創造性を発揮し、生命を尊重する心、思いやる心や倫理観、正義感、感動する心を育成することが重要であります。

このため、「私たちの道徳」や心に響く道徳資料の活用を図りながら、教育活動全体を通じて他人の痛みがわかり思いやりのある、自他の生命を大切にす豊かな心を育成する道徳教育の一層の充実に努めます。

また、心の栄養と言われる

読書活動につきましては、学校図書室と福祉センター図書室との連携により、朝読書の推進や家庭における「家読(うちどく)」など、読書の習慣化に努めてまいります。

「いじめ」の問題については、どの子にも起こりうる問題であるとの認識を持ち、その前段階となる個々の状況、人間関係のトラブルの把握等の早期発見・早期対応に努め、危機意識を持って取組んで参ります。

子どもたちの健康や体力は生きる力の根底となるものです。昨年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果において、当町の小中学生は全国平均を上回っている種目が多くありましたが、発達段階や個人差を踏まえた指導を充実させるとともに、体育の授業だけでなく、部活動や休み時間、放課後の運動など学校全体で体力向上の取組を支援するとともに、家庭との連携により、子どもたちの生活リズムの確立に努めてまいります。

なお、子どもたちへの相撲の普及・浸透を図るため、昨年度実施した「相撲に親しむ

活動」を関係団体の協力を得ながら、継続してまいります。



▲相撲に親しむ教室

### ④ 特別支援教育

**教**職員が共通認識のもと、心身に障がい等のある

子ども一人ひとりの教育的課題を把握し、学校生活での困難を改善できるよう引き続き介助員を配置し、適切な支援体制の確保に努めてまいります。また、町内外の小・中学校との交流等による相互理解を図るなど自立し、社会参加していくための適切な支援を行ってまいります。

なお、普通学級において支援を要する児童が増加傾向にあることから、個々のニーズに対応するために、新たに学習支援員を配置し、きめ細かな支援に努めてまいります。

### ⑤ 高校存続対策

**福**島商業高校の存続につきましては、若者の定住においても地域の活性化にとってもますます重要な位置づけとなっております。

中学卒業生が減少する中で、入学者の確保は厳しい状況となっておりますが、現在実施している公務員試験対策講習と併せて、本年度より看護・医療系学校受験対策講習を実施し、高校の魅力を高めるとともに、生徒のキャリアアップにつながる選択肢を広げてまいります。

今後とも、近隣町を中心とする中学生や保護者に対して職業校としての優位性や各種支援策について周知啓発に努めながら、入学者の確保に取り組んでまいります。

### ⑥ 学校給食

**学**校給食は、食育における生きた教材として、

子どもたちの食生活に大きな役割を担っております。学校・家庭・地域との連携のもと、食への感謝の気持ちや食育への関心を高めてまいります。

また、安全・安心でおいしい給食を提供するため、衛生管理基準に即した調理作業や食材調達、設備等の安全管理を徹底してまいります。

福島町食育推進計画に基づいて地元産食材の使用割合をさらに高めるため、各関係団体、関係機関と連携を強めるとともに、平成22年度より実施しております給食助成金を増額し、地域の特色を生かした給食を提供してまいります。

### ■社会教育の推進に ついで

### ① 第6次社会教育中期計画

**福**島町教育目標を具現化するための指針となる「第6次福島町社会教育中期計画」を昨年度策定いたしました。

当町における社会教育中期計画は昭和63年度始期の「第1次福島町社会教育中期計画」から始まり、それぞれ時代の変遷に沿って施策等の見直しが行われておりますが、今回の計画は今年度から平成35年度までの計画期間となっております。各分野における今日